

戦争・治安・改憲 NO!

共謀罪弾圧をはね返し、 悪法廃止を勝ち取るぞ!

破防法・組対法に反対する共同行動 hanchian.3zoku.com/Middle.html |

■6月21日共謀罪法公布、7月11日施行、国連組織犯罪条約8月10日発効

共謀罪法（改悪組対法）強行制定と改憲・朝鮮戦争挑発に執念を燃やす安倍政権の動揺と急激な支持率低下は、運動全体の力関係・構図を大きく変化させる。しかし敵が共謀罪法制定で巨大な運動つぶしの武器を手に入れたことは注視すべきである。99年盗聴法廃止闘争時のような署名一廃止法案提出という国会を中心にしたカンパニア的な闘いだけではすまない。また9条改憲阻止闘争は共謀罪を核とする緊急事態条項新設の闘いと切り離しては考えられない。廃止闘争は共謀罪弾圧との攻防を含め国家権力・警察と反対運動との総力戦にならざるをえない。

6月23日、法務省は林刑事局長名で通達（異例の長文解説で踏み込み、混乱）を発し、警察庁は都道府県警本部が共謀罪捜査を指揮すると発表した。共謀罪法成立後、治安維持法と同じく僅か20日後に拙速施行という暴挙に警鐘を乱打する必要がある。何が罪に問われるのか分からない中で検察・警察の恣意的な共謀罪弾圧との対決が直ちに問われる。

■共謀罪法弾圧を共にはね返そう

私たちは、共謀罪との対決、廃止を絶対にあきらめない。以降、反対闘争は①現場での共謀罪弾圧策動をはね返す、②法的に発動させない、違憲訴訟、署名提出などの重畳として、悪法を廃止する長期戦として闘われる。話し合っただけで罪にする違憲・違法の治安弾圧を許すな！現代版の治安維持法＝共謀罪を労働運動・大衆運動の力で、ぶっ飛ばそう！

敵は運動の委縮・自己規制を狙っている。萎縮せず大いに共謀する、弾圧させない、共謀罪弾圧には共同反撃することが鉄則である。各人・各運動の生活・闘いの現場からの共謀罪批判を強めよう。生活・闘いに根づかなければ反弾圧の闘いは難しい。

その際、共謀罪弾圧とは何かの捉え返しが改めて必要になる。話し合い処罰は“良心の囚人”弾圧であり、デッチアゲ弾圧・冤罪は多発する。警察は共謀しているはずだと弾圧する。共謀罪の最終的狙いは、団結・共闘の分断と解体、一網打尽にすることだからだ。

既に悪法廃止に向けた闘いは各所で始まっている。私たちも治安法合宿や8月26日“共謀罪反対闘争の総括と展望”討論会を開き、秋の闘いを始めた。全都反弾圧闘争などを通じて共謀罪廃止の展望をつかみ取り、戦争・治安・改憲の濁流と対決する闘いと陣形を創りだそう。

○9月6日（水）共謀罪に負けないぞ！共謀罪対策弁護団結成記念シンポジウム

12時～13時30分 衆議院第2議員会館多目的会議室 主催・共謀罪対策弁護団／共催・共謀罪法に反対する法律家団体連絡会

○9月15日（金）共謀罪は廃止できる！大集会 18時30分～日比谷野音、共謀罪廃止

のための連絡会 ＊共同行動は18時に霞門集合、集会参加後に銀座デモ

○9月25日（月）戦争・治安・改憲 NO!霞が関デモ

18時～日比谷公園霞門集合、20時解散 戦争・治安・改憲 NO!実行委員会

○9月30日（土）“法務省・共謀罪解説の欺瞞を暴く”討論会 18時～21時 神保町

区民館A会議室 500円 神保町駅下車 共同行動／共謀罪反対！国際共同署名運動